

やまびこ



労働安全全体会議 (5 頁に関連記事)

目

- ◇組合長挨拶…………… 2
- ◇功労者表彰…………… 3
- ◇インターンシップに高校生参加！ …… 3
- ◇栗原苔フェスティバル2024 …… 4

次

- ◇労働安全全体会議…………… 5
- ◇春の優良みやぎ材展示即売会…………… 5
- ◇スマート林業実演研修会…………… 6
- ◇新規採用現場技能者紹介…………… 6
- ◇係より…………… 6

豊かな森林を未来へ引き継ぐ



代表理事組合長
狩野 周一

日頃、栗駒高原森林組合事業運営につきましては、組合員皆様方より温かいご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年の夏も全国的に猛暑が続き、最高気温が35℃を超える猛暑日が常態化してきています。また台風



の発生や進路は想像を超えたものとなっておりま。

近年の気象用語で「線状降水帯」ゲリラ豪雨「記録的短時間大雨情報」など地球温暖化が起因すると思われる災害が多くなりました。その発生に伴い、当地区では大きな災害はありませんでしたが、各地で猛威を振るい大きな被害をもたらしました。亡くなられた方、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

昨今、全国の里山などに生息する鳥類のうち、スズメと16種の個体数が絶滅危惧種の基準に相当するペースで急速に減少していることが、環境省と日本自然保護協会の調査で明らかになっております。例年ですと稲の収穫前には、スズメが群れをなして田んぼに飛来し、食害等がございましたが、害虫を食えることから農家にとっては概ね益鳥と認識されていると思います。

小さくて愛らしい姿と「チュンチュン」という鳴き声のスズメは、早朝からさえずり、私たちにとって最も身近な野鳥です。

若かりし頃、電線音頭という歌がありました。「電線にスズメが三

羽止まった。それを猟師が鉄砲で撃ってさ……」いまスズメの姿さえ見つけるのが容易ではありません。

将来的には、スズメが絶滅危惧種に指定される恐れがあるという話があります。

スズメは何が原因で個体数を減らしたのでしょうか？

様々な要因がありますが、家の軒下の隙間など狭いところに巣をつくる習性がありますが、最近の住宅は、こうした隙間がなくコンクリート化が進んでいる事、農薬の普及によりエサとなる昆虫の減少、あるいはネコの野生化、天敵の増加(カラス等)更には地球温暖化によりスズメが生息しやすい生存に適した気温でなくなったこと、自然環境が失われている事や長引く木材価格の低迷により、管理されなくなった里山が増大し生息環境による変化が大きな要因だと思われま。

当組合が管理作業を行っているエリア内に栗原市花山字草木沢続石という地区があります。ここにはクマタカが生息しているということで、宮城県はもとより、遠く関東方面からもカメラマニアの



クマタカ：絶滅危惧種（林野庁HPより）

方々が、朝早くから望遠レンズをのぞき込みシャッターチャンスを狙っています。

クマタカという保護すべき希少鳥類が生息しているということは、エサとなる野生動物、野生生物が生息しているということであり、適切な森林管理が行われている証であり、森林の生態系等が維持されているということだと思えます。今後も森林組合の業務を通じて、森は林業で木材を得るだけでなく、地球温暖化に及ぼすCO₂を吸収し、水を貯えたり、土砂崩壊を防ぐなど様々な役割を担っていることを再認識し、森林の持つ多面的機能の維持増進に取組んでまいりますので今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

全国森林組合代表者大会

功労者表彰(現場技能者)



千葉貴文氏

功労者表彰(森林組合役員)



佐藤則明氏

10月16日に東京銀座ブロッサム中央会館において令和6年度全国森林組合代表者大会が開催されました。開催に先立ち表彰が行われ、功労者表彰として前代表理事組合長である佐藤則明理事と現場技能者の森木林産班副班長 千葉貴文氏が受賞されました。大会では～「林業のグリーン成長」と「JForestビジョン2030」の積極展開による森林資源の適切な管理・循環利用の推進～を副題とし、『森林整備のための財源確保について』と『「JForestビジョン2030」の推進について』の意見表明が行われました。

また、「令和7年度林業政策・予算に関する要望(案)」として右の5項目について強く訴え、大会を終了しました。

1. カーボンニュートラル・国土強靱化に向けた森林整備・保全と適切な管理の推進
2. 人材の確保・育成と労働安全対策推進強化
3. 生産性向上と需要拡大による国産材の供給・利用促進等
4. 能登半島地震や大雨災害など激甚な災害からの復旧・復興
5. 林業及び山村振興等に必要な林業税制の改正

インターンシップに高校生参加!

令和6年9月4日(水)～5日(木)までの2日間、迫桜高等学校2年生3名が当組合のインターンシップに参加しました。

インターンシップは、学生が興味のある企業などで実際に働いたり、訪問したりする職業体験のことで、林業の基本である「植えて、育てて、伐って、使って」の一連を体験実習しました。



栗原苔フェスティバル2024

「くりはらの苔」の認知度向上と販路開拓を図るため、県内及び県外の苔関連業者や苔生産者などが集い、栗原地域における苔栽培等の取り組みを発信するとともに、苔玉や苔テラリウムの展示・販売・作製体験・苔栽培の講習・体験など苔の魅力を体感できるイベントとして、全国唯一の苔の祭典「栗原苔フェスティバル2024」を、10月26日(土)栗駒山麓ジオパークビジターセンターで、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、栗原市、一般社団法人栗原市観光物産協会、栗駒高原森林組合の実行委員会で開催しました。

当日は、紅葉時期と好天に恵まれ、約500人の多くの方々が来場されました。全国から苔事業者13者参加され苔の商品展示・販売も行われ、未知の苔を紹介し、特にワークショップの苔テラリウムや苔玉づくり、苔の育成体験では、苔の知識と技術向上の情報発信をすることができました。

皆様のご来場、ありがとうございました。



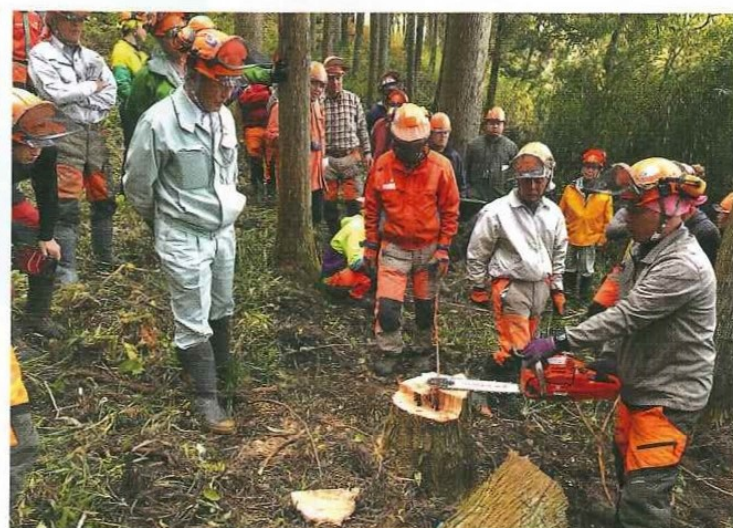
労働安全全体会議を開催しました

令和6年11月15日(金)

11月15日に当組合事務所裏山において労働安全全体会議を行いました。チェーンソー作業の安全確保を目的に、今年2回目となる『基本的な伐採について』の講習を組合の伐木指導員による基本的な伐採作業の実演をもとに行い、伐採作業における追口の作り方の重要性を確認しました。中でも、今回は傾いている木の重心を変えながら目的の方向へ倒す追口伐りの方法をメインに、6名の代表者に実際に伐倒を行ってもらいました。チェーンソーの刃先の入れ方・刃の深さや作業姿勢が少し違うだけでなかなか倒れず、沢山の汗を掻きながら安全クサビを打つ姿に受講者の誰もが真剣に見入っていました。今回の講習を通して更なる技術を習得することができ、大変有意義な時間となりました。今後のチェーンソー作業の安全確保につながることを確信しました。



レーザーポインターにて伐倒方向を確認

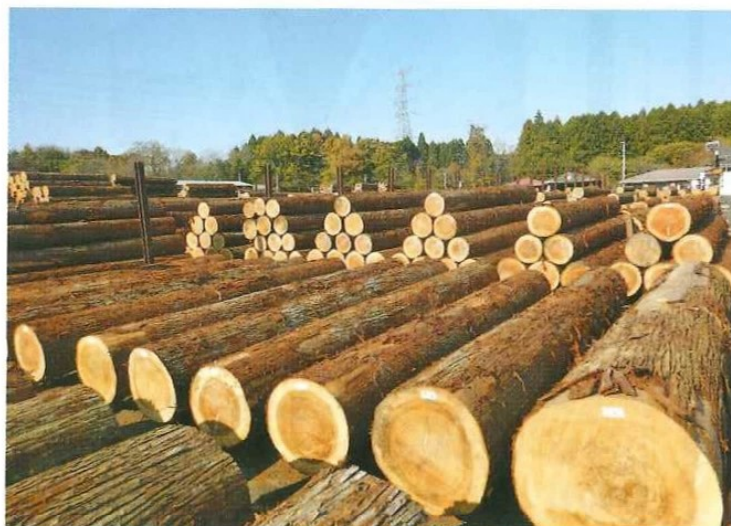


刃先の入れ方・刃の深さを確認

◆ 第34回優良みやぎ材展示即売会 ◆

令和6年11月14日(木) / 宮城県森林組合連合会 大衡綜合センター

秋の優良みやぎ材展示即売会が、大衡綜合センターを会場に開催されました。当日の出品量は1,482 m³、販売量1,379 m³、販売率93%で、当組合ではスギ約73 m³を出品しました。全体の状況としては、出品量は春と比較して減少したものの、スギ一般材が値上り傾向にあり、広葉樹においても高値が付く材が多くみられました。



スマート林業実演研修会 令和6年10月18日(金)

宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部によるスマート林業実演研修会を、栗駒高原森林組合研修室及び所有林で開催されました。

地理空間情報やICTロボット等の先端技術を活用し、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産を可能とする「スマート林業」による、レーザードローン森林計測及び丸太検知システムの実演研修を行いました。



【レーザードローン森林計測】

レーザースensaをドローンに搭載して計測を行い、上空から森林の3D点群データで、精度の高い樹冠形状のデータを取得することが可能です。レーザードローンで取得したデータと空撮写真のデータを併せて解析を行い、面積、樹種ごとの本数、樹高を計算し、胸高直径データと掛け合わせることで、樹種ごとの材積を算出することが可能です。レーザードローンで計測を行うことで、上空からの写真では確認できない樹木下の地形を計測することが可能で、従来の計測方法に比べ大幅な業務の効率化を実現します。



【丸太検知システム】

スマートフォンで、はい積みされた丸太を撮影した後、樹種や材長などを入力するだけで本数、径級、材積を瞬時に測定できます。検知データはインターネットで写真データと位置情報がサーバに保存され、どこからでもダウンロードして修正などができます。従来の検知作業と比べて短時間(1分~数分)で測定可能であることや、検知間違いや漏れも少なくなります。丸太検知システムは木材市場や山土場のはい積み、運送トラック・フォワードに積載された丸太を検知するなど、様々な場面で有効活用が期待されます。

当組合の監事を務めておりました千葉俊朗氏(文字地区)が令和6年10月3日に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

新規採用現場技能者紹介

令和6年10月1日採用
年齢/27歳 出身地/栗原市栗駒



千葉 貴文

私は前職で林業に関わる仕事をしていました。地元から離れ一人暮らしをしていましたが、今後は地元で働きたいと思い栗駒高原森林組合に就職させて頂きました。作業には、危険な状況に遭遇するなど大変なことがあると思いますが、安全第一に事故のないように心がけながら、頑張っていきたいと思っています。

係より 組合員みなさんへ

◎詳細については、
総務課にお問い合わせ下さい。

栗駒高原森林組合青年部

組合員が住所を変更した場合、
届出が必要になります。

住所変更について

組合員が後継者に山林を贈与した場合、
届出が必要になります。

承継加入手続きについて

組合員が死亡した場合、届出が必要になります。
相続加入手続きをお願いいたします。

相続加入手続きについて

0228-45-3311